

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公表番号】特表2008-543436(P2008-543436A)

【公表日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-517035(P2008-517035)

【国際特許分類】

A 4 7 L 13/22 (2006.01)

A 4 7 L 13/42 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 13/22

A 4 7 L 13/42

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月9日(2009.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面を洗浄するための床モップアセンブリであって、  
 下端及び上端を有する柄と、  
 前記柄の前記下端に取り付けられた媒体ホルダーと、  
 前記柄の前記上端の上に又はそれに隣接して配置されたりザーバとを含み、  
 その際前記りザーバが、流体を収容するため及びそれから流体を分配するために適合される、表面を洗浄するための床モップアセンブリ。

【請求項 2】

第 1 末端部分及び第 2 末端部分を有する柄であって、はめ込み式であり且つ内部流体管を含む柄と、

前記柄の前記第 1 末端部分に取り付けられたボトルホルダーであって、前記ボトルを前記流体管と流体連通状態に置くように構成されたボトルホルダーと、

前記柄の前記第 2 末端部分に設置された流体ディスペンサーであって、流体が前記流体管を出ることができるように構成された流体ディスペンサーと、を含む液体分配洗浄装置  
 。

【請求項 3】

第 1 の手を柄のシャフトの周りに、及び第 2 の手を前記柄に取り付けられたボトルの周りに置いてモップを保持する工程と、

前記ボトルを圧搾して液体を前記ボトルからモップの前記柄を通して床表面上に望まれるように分配する工程とを含む、洗浄方法。

【請求項 4】

第 1 末端部及び第 2 末端部を包含する柄であって、流体管をその中に包含する柄と、

前記柄の前記第 1 末端部に枢動可能に接続される媒体ホルダーと、

前記流体管と流体連通するディスペンサーであって、前記柄の前記第 1 末端部に隣接して設置されたディスペンサーと、

前記柄の前記第 2 末端部と軸方向に整列し、且つ、該第 2 末端部に接続されたボトルホルダーと、

第 1 末端部分及び第 2 末端部分を包含するスクイズボトルであって、前記ボトルの前記第 1 末端部分が前記ボトルホルダー内に保持されるスクイズボトルとを含み、

前記ボトルは、前記流体管及びディスペンサーと流体連通しており、且つ、前記ボトルを圧搾することにより前記ボトルから前記流体管を通して前記ディスペンサーの外部へと液体を流出せしめるように構成されている、液体分配洗浄システム。